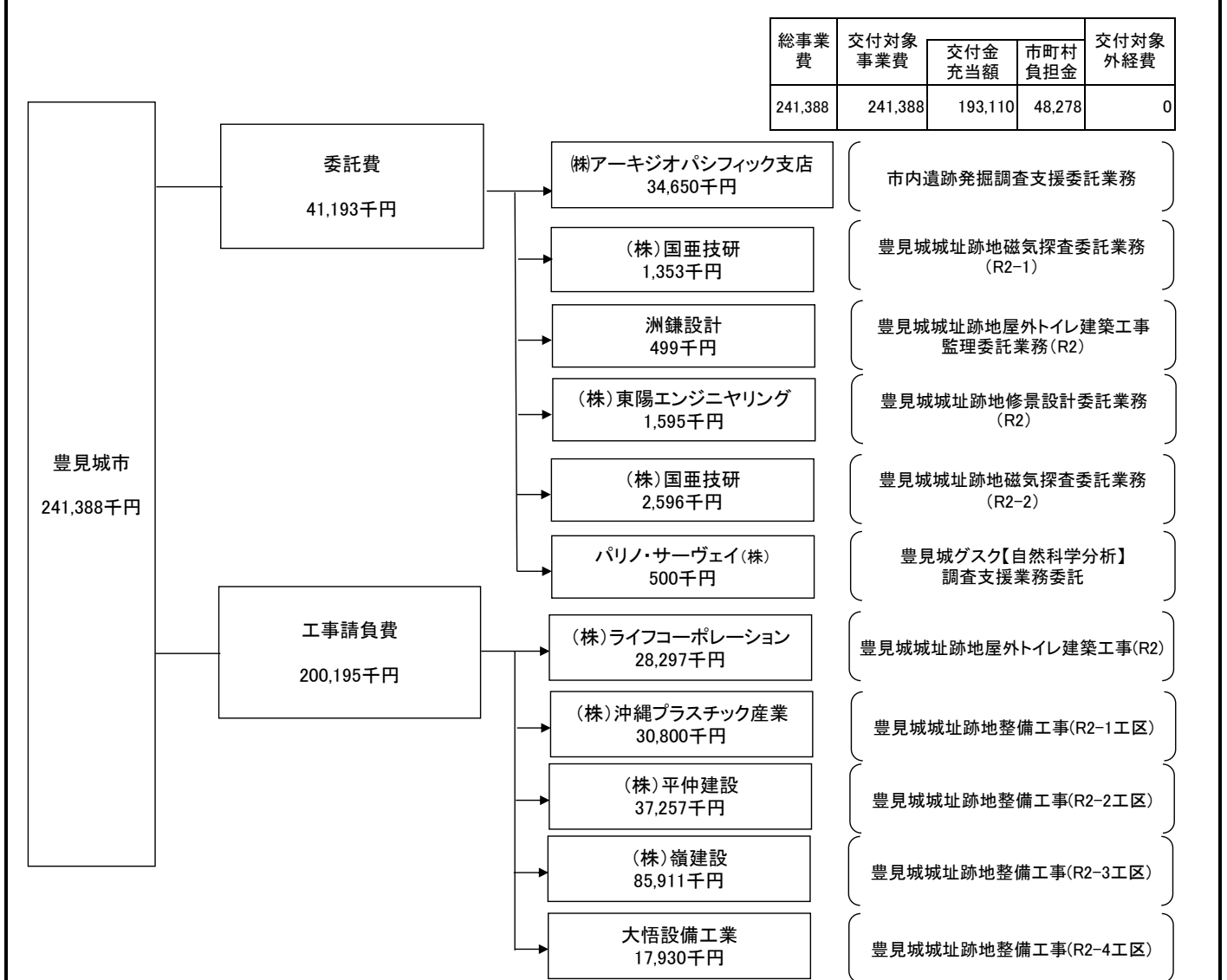


市町村名		豊見城市					
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①		文化観光創出事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-エ	
	担当部課名	経済建設部 公園緑地課		事業実施(予定)年度	平成24年度～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備
事業内容		H25年度策定の「豊見城城址跡地利用計画」を踏まえ、豊見城城址及びその周辺について、観光資源として活用するため、用地を取得し必要な施設等の設計や整備を実施する。					Ⅲ-1-(1)
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	H30年度		R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R2年度(繰越)
		(a) 当初予算額	38,903	330,663	-	242,500	-
	(b) 予算現額	38,903	284,397	-	242,500	-	
	(c) 増減額(b-a)	0	▲46,266	-	0	-	
	(d) 繰越額	-	-	106,739	-	112,031	
	A. 計(b+d)	38,903	284,397	106,739	242,500	112,031	
	B. 執行済額	38,896	177,658	103,846	130,469	110,919	
	うち交付金充当額	31,116	142,126	83,077	104,375	88,735	
	次年度繰越額	-	106,739	-	112,031	-	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	62.5%	97.3%	53.8%	99.0%	
予算の状況の説明		令和2年度(現年)予算額206,251千円の内、委託費34,650千円(予算額35,750千円)、工事費24,915千円(予算額26,246千円)、その他工事に伴う磁気探査業務等を執行した。主な用途は、市内遺跡発掘調査支援委託業務(34,650千円)、豊見城城址跡地屋外トイレ建築工事(R2)(24,915千円)である。 令和2年度(繰越)予算額78,312千円の内、工事費141,098千円(予算額142,846千円)、その他工事に伴う磁気探査業務等を執行した。主な用途は、豊見城城址跡地整備工事(R2-2工区)(37,257千円)、豊見城城址跡地整備工事(R2-3工区)(85,911千円)、豊見城城址跡地整備工事(R2-4工区)(17,930千円)である。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
	・磁気探査業務 ・駐車場施設の整備	目標	(磁気探査、駐車場整備工事)	(磁気探査、駐車場整備工事)	()	()	
		実績	磁気探査、駐車場整備工事	磁気探査、駐車場整備工事			
	・園路照明灯の設置 ・実施設計(屋外トイレ建築、親水空間・斜面緑地保全ゾーン、園路)	目標	()	(園路照明灯設置工事、実施設計の実施)	()	()	
		実績		園路照明灯工事、実施設計の実施			
	・特別調査、親水空間・斜面緑地保全ゾーン環境評価	目標	()	(特別調査、環境評価の実施)	()	()	
		実績		特別調査、環境評価の実施			
	・屋外トイレ施工監理、磁気探査業務、実施設計(グスクゾーン)、埋蔵文化財発掘調査等(現地調査、自然科学分析)の完了	目標	()	()	(屋外トイレ施工監理、磁気探査、実施設計、埋蔵文化財発掘調査等完了)	()	
		実績			屋外トイレ施工監理、磁気探査、実施設計、埋蔵文化財発掘調査等完了		
	・屋外トイレの建築工事、園路整備、法面対策工事の完了	目標	()	()	(屋外トイレの建築工事、園路整備、法面対策工事の完了)	()	
実績				屋外トイレの建築工事、園路整備、法面対策工事の完了			
達成状況説明	新型コロナウイルスの影響により流通等にも影響があり、資材入荷または製造に遅れが生じたこと、また、隣接して行われていた工事との連携及び火葬場からの要望で岩掘削時間の制限など、それらの調整に不測の日数を要した。そのため関連する業務及び工事の発注時期が遅れたことで、令和2年9月に市内遺跡発掘調査支援委託業務、令和2年6月に豊見城城址跡地屋外トイレ建築工事(R2)、令和2年7月豊見城城址跡地整備工事(R2-1工区)は完了したものの、それ以外の工事及び磁気探査業務等については令和3年5月末までに完了したので、令和2年度の活動目標は達成となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(R4年度)
	駐車場施設の整備完了 園路照明灯の設置完了 実施設計の完了(屋外トイレ建築、親水空間・斜面緑地保全ゾーン、園路)	目標	()	(整備完了)	(整備完了)	()	()
		実績		整備完了	整備完了		
	・実施設計(グスクゾーン)、埋蔵文化財発掘調査等(現地調査、自然科学分析)の完了 ・屋外トイレの建築工事、園路整備、法面対策工事の完了	目標	()	()	()	(整備完了)	()
		実績				整備完了	
【参考指標】 年間来場者数	目標	()	()	()	()	(2万人)	
進捗状況説明	・令和2年度は用地取得は未実施であるが、現時点で全体取得予定面積のうち累計で約83%取得済みである。 ・豊見城城址跡地屋外トイレ建築工事(R2)、豊見城城址跡地整備工事(R2-1工区、R2-2工区、R2-3工区、R2-4工区)を完了。引き続き関係機関との調整を踏まえ、未整備区間の園路や周辺環境の整備予定。 ・R4成果目標(中間目標)については、県内グスクの年間利用者を参考に施設条件などを考慮した結果、供用開始5年間に於いて、本事業により整備した施設の利用者10万人(単年あたり2万人)を目標値とした。利活用の促進に向けて沖縄県事業(沖縄空手会館及びおきなわ工芸の社)と連携を図っていく。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施が令和3年度までの計画となっているが、園路整備に際し未買収用地がまだあることから、早期取得が必要となる。 沖縄県の施設である沖縄空手会館(平成28年度供用開始)とおきなわ工芸の杜(令和4年度供用開始)の利用に支障が生じないよう、特におきなわ工芸の杜の建築工事に影響が生じないよう周辺施設整備(駐車場、園路、給排水設備等)を早期に行う必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 事業用地の早期取得については、地権者間の係争の解決が必要であり、その状況を逐次確認しつつ、解決した際には早期に交渉に臨めるよう説明資料等を準備する必要がある。 沖縄県の施設である沖縄空手会館(平成28年度供用開始)とおきなわ工芸の杜(令和4年度供用開始)は、本事業の施設整備に関わる点が多い。特におきなわ工芸の杜の供用開始に合わせて事業推進が図られるよう周辺施設整備(駐車場、園路、給排水設備等)に関する業務及び工事を年度の早い段階で発注し、余裕を持った工期とし年度内で完了するよう取り組む。

今後の取り組み方針
<ul style="list-style-type: none"> 取得した用地については、今後の発掘調査を含め園路及び雨水排水施設等の施設整備を進める。特に隣接する空手会館の施設利用やおきなわ工芸の杜の建築工事に支障が生じないよう関係者との協議・調整を適宜行い、業務及び工事の適正な施工及び管理に努める。 残りの事業用地については、地権者間の係争の解決後に早期に交渉に臨めるよう補償物件の単価入替や用地単価の時点修正を実施する。 当事業と一体的な沖縄県事業(沖縄空手会館及びおきなわ工芸の杜)と連携を図り、市民に愛される豊見城グスク整備を実施していく。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)



資金の流点検・費目	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の流点検・費目	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は、本市指名委員会で選定した業者を指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○予算は、設計業務等積算基準書、工事標準積算基準書などより算定していることから、予算規模は事業内容と見合っていると考える。 ○費目、用途については、事業目的の観点から額の確定時において支出等に関する書類により確認、適性であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市							
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-④	与根地区観光交流施設整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ア			
担当課名	経済建設部 農林水産課	事業実施(予定)年度	平成27年度～令和2年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際的な沖縄観光ブランドの確立 Ⅲ-1-(1)			
事業内容	豊見城市の西海岸各地区(瀬長地区、豊崎地区、与根地区)の観光客の回遊を促進、与根地区の観光地としての認識の向上を図ることを目的とし、与根地区観光交流施設を整備する。							
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(4 年度)							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	R5年度		
	予算の状況	(a)当初予算額	300,000	-				
		(b)予算現額	300,000	-				
		(c)増減額(b-a)	0	-	0	0	0	
		(d)繰越額	0	300,000				
		A.計(b+d)	300,000	300,000	0	0	0	
	B.執行済額		0	286,249				
	うち交付金充当額		0	228,999				
	次年度繰越額		300,000	-				
	執行率(%) (B/A)		0.0%	95.4%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	
予算の状況の説明		施設整備工事について、技術者の不足等の要因から入札不調となり、技術者を確保するための工期の見直しに不測の日数を要したため、令和2年度内の完了が困難となり、事業費300,000千円を令和3年度に繰越した。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況					
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度		
	・磁気探査業務、施工監理の実施 ・施設建設工事等の実施 ・備品購入業務の実施	目標	()	()	()	()		
		実績	磁気探査業務、施工監理、施設建設工事等、備品購入業務の実施					
			目標	()	()	()		
			実績					
達成状況説明	令和2年度繰越事業として磁気探査業務、工事監理委託業務、施設整備工事、駐車場整備工事、備品購入業務(その1)、備品購入業務(その2)を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)	
	・磁気探査業務、施工監理の完了 ・施設建設工事等の完了 ・備品購入業務の完了	目標	()	(完了)	()	()	()	
		実績		完了				
	【参考指標】 ①与根地区観光交流施設の来訪客のうち、西海岸の他地区(瀬長地区、豊崎地区)の観光施設を訪れた者の割合 ②(来訪者アンケートによる)与根地区に対する認識の向上が図られた割合		目標	()	()	()	()	80% 80%
			実績					
	進捗状況説明	令和2年度成果目標に掲げた項目すべてを令和3年度の繰越事業により実施、完了した。 令和3年度成果目標に掲げた項目については、令和3年度の繰越事業により完了したことから、実績数値はなく、令和4年度以降に成果目標を達成しているか検証を行う。						

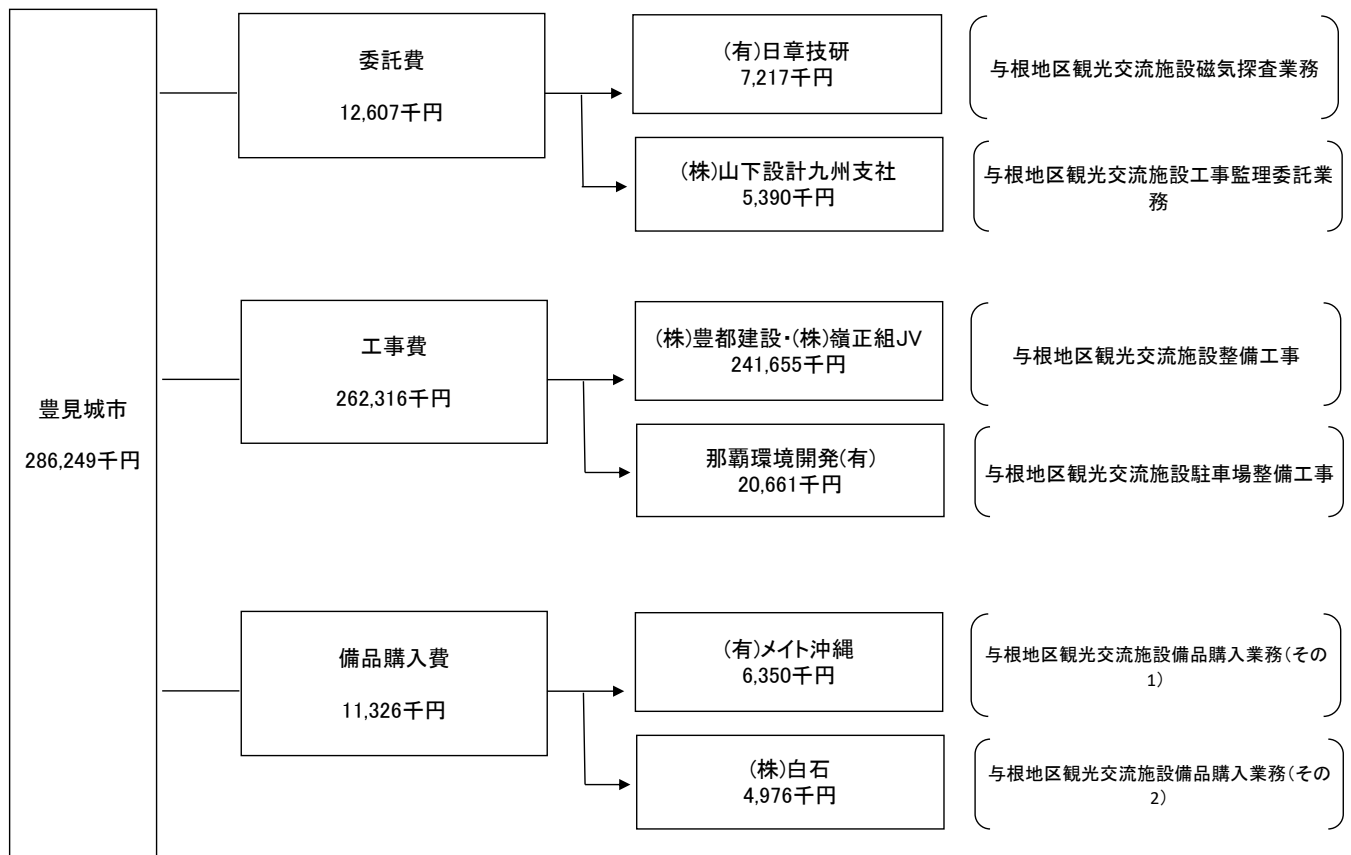
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・施設整備工事において、技術者の不足等の要因から一般競争入札が不調となり、工期の見直しを行った。他工事も同時期に発注されており、工期が重なっていることから受注可能な技術者が不足していると考えられる。</p>	<p>・工事の早期発注に努めることや、他工事の発注状況について情報収集に努め、余裕を持った工期を確保できるようにする等、工夫ができるよう取り組む。</p>

今後の取り組み方針

来訪者アンケート結果を基に事業成果の検証及び、与根地区観光施設を活用した更なる取組を検討する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付先		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
286,249	286,249	228,999	57,250	0



資金の用途の流 れ、点検、 評価 ・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託・工事・備品購入の業者選定は指名競争入札により実施しており、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については不用額は13,751千円であり、適正な規模であったと考えている。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・用途については事業目的の観点から必要なものなのか等については額の確定時において検査、確認しており、適正であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	豊見城市						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-②	スポーツコンベンション拠点機能向上事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-4-(1)-ア	
担当部課名	経済建設部 公園緑地課	事業実施(予定)年度	令和2年度～令和2年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際ネットワークの形成と多様な交流の推進 Ⅲ-1-(1)	
事業内容	豊見城市民体育館にバレーボール、ハンドボール、バドミントン等のナショナルチームレベルの合宿や公式の国際試合開催が可能となるスポーツフロアシートを整備する。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	R5年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	32,076	—			
		(b) 予算現額	32,076	—			
		(c) 増減額(b-a)	0	—	0	0	0
		(d) 繰越額	0	32,076			
		A. 計(b+d)	32,076	32,076	0	0	0
	B. 執行済額		0	31,108			
	うち交付金充当額		0	24,886			
	次年度繰越額		32,076	—			
	執行率(%) (B/A)		0.0%	97.0%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
予算の状況の説明		当初予定では、令和2年度(現年)で事業完了予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響により工程に影響が生じ、令和2年度(現年)内での完了が困難となったため、次年度へ事業費32,076千円の繰越が必要となった。令和2年度(繰越)の予算状況は、事業費31,108千円を執行した。					
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	プロスポーツ合宿や国際大会誘致に必要なスポーツフロアシートの整備	目標	スポーツフロアシート(の整備)	()	()	()	()
		実績	スポーツフロアシート(の整備)完了				
		目標	()	()	()	()	
	実績						
達成状況説明	令和3年度の9月にスポーツフロアシートの納入が完了し、事業完了となった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)
	プロスポーツ合宿や国際大会誘致に必要なスポーツフロアシートの整備	目標	()	(スポーツフロアシートの整備)	()	()	()
		実績		整備完了			
	【参考指標】 スポーツコンベンション誘致	目標	()	()	()	()	(3件/年)
		実績					
進捗状況説明	<ul style="list-style-type: none"> 令和3年9月にスポーツフロアシートの納入完了。 関係各課や市内スポーツ関連団体等と協力し、スポーツコンベンション誘致3件/年の達成に向けて対応する。 						

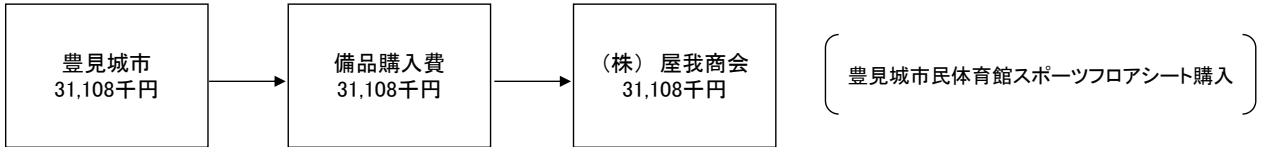
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<p>・現在の利用状況として、バレーボールのみで使用されており、他の競技(バスケットボール、ハンドボール、バドミントン等)での使用はない。</p>	<p>・関係各課や市内スポーツ関連団体等と協力し、バレーボール以外の競技にもスポーツフロアシートの認知を広め、使用頻度の向上に努める。</p>

今後の取り組み方針

・関係各課や市内スポーツ関連団体等と協力し、スポーツコンベンション誘致3件/年の達成に向けて取り組む。
 ・現時点において、バレーボールのナショナルチームレベルの合宿誘致しており、その他競技に関してもナショナルチームレベルの合宿誘致できるよう取り組む。

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費
		充当額	市町村負担金	
31,108	31,108	24,886	6,222	0



資金の流 れ、 検 査 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託の業者選定は、本市指名委員会で選定した業者を指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算は、参考見積を事業者三者から取得し、予定価格の設定を行っていることから、予算規模は事業内容と見合っていると考える。
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、用途については、事業目的の観点から額の確定時において支出等に関する書類により確認、適性であった。
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	